新·大阪府豊かな海づくりプラン 進捗状況

大阪府環境農林水産部

新・大阪府豊かな海づくりプラン

位置づけ

- 府内の水産業の振興に関する施策を府が総合的かつ計画的に実施するための行動計画
- 水産基本法、水産基本計画 (H24.3変更) を踏まえ策定
- 府民及び漁業者アンケート結果を反映させ策定

計画期間

- 平成27年度~令和6年度(10年間)
- 平成27年4月策定、令和2年5月改定 (令和2年3月で策定後満5年を経過したため、 SDGs等を踏まえた中間見直しを実施)

進行管理

• 大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会にて 毎年度進捗状況を報告し、意見を求める

プランの基本目標

「はま」が潤い、豊かな恵みを「まち」に届ける海づくり

「はま」(漁業地区)の生活が豊かになり活性化するとともに、 「まち」においても豊かな生活の実現をめざすもの

■基本目標を実現するための6つの取組方向

「はま」が潤う!

- ①海や川の環境を豊かにする
- ②水産資源を豊かにする
- ③漁業者の生活を豊かにする

「まち」に届ける!



- ④新鮮な魚介類を届ける
- ⑤海や川の魅力を届ける
- ⑥安全・安心を届ける

6つの取組方向及び主な施策

①海や川の環境を豊かにする

②水産資源を豊かにする

③漁業者の生活を豊かにする

(主な施策・全32施策)

漁場整備、栄養塩管理等

栽培漁業、資源管理等

ブランド化、浜の活力再生プラン、6次産業化、担い手育成等

④新鮮な魚介類を届ける

⑤海や川の魅力を届ける

⑥安全・安心を届ける

イメージアップ、PR、新たな販路開拓等

イベント開催、希少生物保護、観光漁業等

地震津波対策、貝毒対策等

4

取組 ①海や川の環境を豊かにする

施策1

大阪湾の漁業生産力を底上げするための 広域的な漁場整備の推進

<大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョンに基づく漁場整備>

■概要

泉佐野市以南の大阪府南部海域において、海底に着底基質(ブロック)を設置し、 ハード・ソフトが一体となった取組みにより藻場の創造・保全、魚介類の生育環境の 向上を図る。

- ■目標 計画期間: R4~13年度
 - ・今後10年間で新たに22haの藻場を創造し、 藻場面積を95haまで回復させる

■取組内容

- 〇ハード対策(11ha)
- ・底質、潮流、藻場の生育範囲から、A、B、Cの3地区に分け、 海底に着底基質(ブロック)を設置

Oソフト対策(11ha)

・効率的に藻場を繁茂させるため、漁業協同組合による 維持管理や海藻のタネの供給等のソフト対策を一体的に実施



大 版 府

大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン ~藻場の創造・保全による豊かな魚庭(なにわ)の海へ~ (令和4年1月策定)



カジメ



ガラモ (ホンダワラ属)

<大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョンに基づく漁場整備(つづき)>

■ハード対策

	A地区	B地区	C地区
場所	泉佐野、田尻 岡田浦、樽井 (R8~R11年度予定)	尾崎、西鳥取、下荘 淡輪、深日 (R4~R 9 年度予定)	谷川、小島 (R4~R 6 年度予定)
設置水深	5m以浅	1 0 m以浅	1 5 m以浅
ブロックの イメージ	5.5m		Thom 11.0m

【実績】

令和4年度は、岬町沖の3工区(深日、谷川、小島)について、 着底基質の設置に必要な基本設計(深浅測量、実施設計)を実施 (令和5年度は、岬町沖の1工区(小島)に着底基質を10基設置予定)

取組 方向

②水産資源を豊かにする

施策8

大阪湾の水産資源の増大とブランド化をめざした 栽培漁業の推進

【内容】「第8次大阪府栽培漁業基本計画」(令和4年4月策定)に基づき、栽培Cでヒラメ等の種苗の生産と放流を、水技Cでトラフグとメバルの生産・放流の技術開発を実施

【実績】

令和4年度は29万4千尾を放流

- ・ヒラメ 11.3万尾を5~6月に放流
- ・キジハタ 10万尾を9~10月に放流
- ・アカガイ 6.5万個を7月に放流
- ・トラフグ 1.6万尾を7月に放流

【数値目標】

放流累積尾数

(令和2年度~令和6年度:計150万尾)



令和2年度~令和4年度:計90.1万尾

■放流尾数

(千尾·千個)

年度	2	3	4	(計)
ヒラメ	104	123	113	340
キジハタ	100	100	100	300
アカガイ	80	100	65	245
トラフグ	-	-	16	16
(計)	284	323	294	901

<技術開発魚種>



トラフグ



メバル

※メバルは第8次計画からの新規対象魚種

取組 3漁業者の生活を豊かにする

施策13 ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開

<ブランド化に向けた取組み>

【内容】 府内産水産物の競争力の強化をめざした販路拡大の取組みを実施

【実績】 令和4年度は、7月に開催されたFOODEX JAPAN in 関西2022において、 大阪産(もん)の展示ブースとライブキッチンを設置し、大阪府漁連の泉だこ等のPRと試食を実施

■ FOODEX JAPAN in 関西2022の様子



展示ブースの様子



ライブキッチンでの試食

FOODEX JAPAN in 関西2022 《開催日》令和4年7月27日~29日 《場 所》インテックス大阪4号館 《出展社》大阪産(もん)関係者 10事業者

取組 ③漁業者の生活を豊かにする

施策13 ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開

く6次産業化の推進>

【内容】府内産水産物の競争力の強化をめざした取組みを実施

【実績】令和4年度は、エースコック株式会社、大阪府漁業協同組合連合会と連携し、 未利用魚(ハモ、シログチ、コノシロ)を使用したカップ麺を開発



■ 6次産業化等による加工品開発

年度	 主体	品目	
R2	大阪市漁協株式会社	淀川産天然ウナギの缶詰	
R2	八败印忠励怀式云红	ル川连大杰·リナの 山 品	
R3	大阪成蹊大学 株式会社西友フーズ	泉だこのポッサムキムチ	
R3	有限会社魚竹蒲鉾店	未利用魚を原材料に使用	
R4	エースコック株式会社	もったいないをおいしいに なに わの潮(うしお)ラーメン	
計	4件		

③漁業者の生活を豊かにする

施策14 「はま」の特徴を活かした漁業振興策の取組み

く浜の活力再生プラン>

【内容】 地元市町や漁協が主体的に作成する「浜の活力再生プラン(浜プラン)」の策定指導、調整

【実績】 令和4年度に田尻地区が「浜の活力再生プラン優良事例表彰」の農林水産大臣賞を受賞





主な取組の概要

- <日曜朝市や漁業体験等の海業の拡大>
- ①漁業者等が出店する日曜朝市の拡大・強化
- ②日帰りバスツアーや小学校の体験授業を受け入れる 漁業体験事業の強化
- ③通年開催可能な施設を活用した海鮮バーベキュー事業の強化
- ④時化等により漁業体験等の他事業ができない際に活用可能な 海上釣り堀事業の拡大・活用

取組

4新鮮な魚介類を届ける

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】J:COMの大阪産(もん)番組に水産物のテーマを紹介



【実績】J:COMが令和2年10月に放送開始した大阪産(もん)の特集番組「かもん!おおさかもん!!」 令和4年度はシジミ、マアナゴ、ハモ、マダコを紹介



シジミ (4月号後半)



マアナゴ(6月号後半)



八壬(7月号後半)



マダコ(9月号後半)

取組

4 新鮮な魚介類を届ける

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】 学校給食会・府漁連と連携して府内小・中学校の出前魚講習会を実施

→令和2~4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により出前魚講習会の中止

【実績】・令和4年度は、大阪城南女子短期大学総合保育学科において、出前魚講習会 (魚の三枚おろし)を開催(7月)

・令和3年度に引き続き、令和4年度も、大阪府企画室、阪南市役所と連携し、 阪南市立上荘小学校にTSDGs出前講座を実施(11月)



短期大学での出前魚講習会



小学校での出前講座

取組 方向

4新鮮な魚介類を届ける

施策23 大消費地店舗と漁港とをつなぐ"お魚の架け橋"づくり

【内容】 ホテルや料理店、学校等で企画される大阪産フェアについて、 情報提供やPR支援を実施

【実績】 大阪産魚介類の活用促進、PR



ホテルプラザオーサカ内レストラン (釜揚げシラスを使った土鍋御飯弁当を提供)



村川学園 大阪調理製菓専門学校【泉州美食EXPO】 (マダイ、スズキ、アカガイ等を使用したお弁当)

⑤海や川の魅力を届ける

施策24 「魚庭(なにわ)の海づくり大会」などイベントを活用した 大阪漁業の発信

【内容】 平成14年から「魚庭の海づくり大会」を実施

→令和2~3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大会開催中止し、 「魚庭の大漁旗デザインコンクール」のみ継続して実施

【実績】令和4年度は、10月23日に岸和田市立浪切ホール祭りの広場において第20回大会を開催し、 来場された府民約1万人に大阪湾の環境及び漁業の大切さ、大阪産魚介類の美味しさをPR



大漁旗デザインコンクール表彰式



八七鍋試食会



キジハタ稚魚の放流体験



お魚タッチングプール

方向

⑤海や川の魅力を届ける

施策25 「はま」と「まち」のふれあいの場の創出



【内容】 漁協が運営する観光漁業や、青空市場・朝市の情報についてPRを実施

【数値目標】

①青空市場開設数

(令和2年度~令和6年度:**8箇所**)

②青空市場来場者数

(令和2年度~令和6年度:**計250万人**)

③内水面漁業権河川利用者数

(令和2年度~令和6年度:**計18万人**)

【実績】

① 令和 3 年度時点:**7箇所**

②令和3年度:34.3万人

(令和2年度~令和3年度:**計57.8万人**)

③令和3年度:2.8万人

(令和2年度~令和3年度:**計5.5万人**)



堺市漁連とれとれ市



田尻漁協日曜朝市

取組 6安全・安心を届ける

施策28 大規模な地震、津波等に備えた漁港、海岸の整備

【内容】高潮対策を行い、府民の生命や財産を守る

【実績】 高潮対策が未了となっている 7 漁港海岸のうち、まず湾奥部に位置する堺(出島)漁港海岸の防潮堤の嵩上げ工事を令和 4 年度に完了

〇令和2年度:北側の防潮堤100mを嵩上げ

〇令和4年度:北側の防潮堤50mを嵩上げ

南側の防潮堤150mを嵩上げ

事業名	区分	漁港名	事業内容
高潮対策事業(緊急自然	単独	堺(出島)	防潮堤改良
災害防止対策事業債)		漁港海岸	工事



防潮堤の嵩上げ工事

数値目標の進捗状況

「はま」が潤う!

	項目	R2-R6の目標	R2~R4年度(累計)	判定	
	①漁場等における海ごみ回収実績	計3万㎡	計1.2万㎡ (R2-3年度実績)	順調	
	②キジハタ等放流尾数	計150万尾	計90.1万尾	順調	
	③6次産業化による加工品開発数	計20件	計4件	遅れ	
	③後継者等新規参入者	計75人	計16人	遅れ	
ſ	「まち」に届ける!				
	④出前講習会等の開催	計45件	計4回	遅れ	
	④水産関係の大阪産ロゴマーク 登録件数	R6時点130店	R4時点134店	順調	
	⑤青空市場開設数	計8箇所	R4時点7箇所	順調	
	⑤青空市場年間来場者数	計250万人	計57.8万人 (R2-3年度実績)	遅れ	
	⑤内水面漁業権河川年間利用者数	計18万人	計5.5万人 (R2-3年度実績)	遅れ	
	⑥漁港海岸における海岸防潮堤の 高潮対策整備の着手率	R6時点100%	R4時点14% (1箇所/7箇所)	順調	